

永遠に輝き続ける孤高の天才ピアニスト

フジコ・ヘミング スペシャルコンサート

魂のピアニスト、
名門オーケストラとの
豪華な競演



ピアノ: フジコ・ヘミング

指揮: マリオ・コシック

管弦楽: 関西フィルハーモニー管弦楽団

©中島英雄

モーツァルト: ピアノ協奏曲 第21番
ハ長調 K.467

リスト: ラ・カンパネラ

ブラームス: 交響曲第2番
ニ長調 Op.73



© s.yamamoto

※都合により演奏曲目、演奏曲順等が変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

2023 **11.1** **水** 15:00開演(14:00開場)
なら100年会館 大ホール

S席 12,000円 A席 10,000円 B席 8,000円 (全席指定・消費税込)

※未就学児の入場不可。

主催: なら100年会館 / コンサート・ドアーズ / キョードー 企画制作: コンサート・ドアーズ
■お問合せ キョードーインフォメーション 0570-200-888 (11:00~18:00 日祝休み)

一般発売日 2023年7月15日(土) 10:00~

チケット取り扱い

- なら100年会館 チケットインフォメーション 0742-34-0111
<http://www.nara100.com>
- コンサート・ドアーズ 03-3544-4577 (平日10:00~18:00)
<http://www.concertdoors.com/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/>
- ローソンチケット <https://l-tike.com/fuzjko/>
ローソン・ミニストップ店頭Loppi
- CNプレイガイド 0570-08-9999
<https://www.cnplayguide.com/>
- イープラス <https://eplus.jp>

フジコ・ヘミング 昼下がりのコンチェルト

F u z j k o H e m m i n g



フジコ・ヘミング (ピアノ)

●Fuzjko Hemming

日本人ピアニストの母と、ロシア系スウェーデン人デザイナーの父を両親として、第二次世界大戦直前のベルリンに生まれる。父と別れ、東京で母の手ほどきでピアノを始める。東京藝術大学を経て、28歳でドイツへ留学。ベルリン音楽学校を優秀な成績で卒業。その後演奏家としてキャリアを積み、バーンスタインなど世界的音楽家からの支持を得るが、大切なリサイタル直前に風邪をこじらせ聴力を失う。失意の中、ストックホルムに移住。ピアノ教師をしながら、欧州各地でコンサート活動続ける。1999年には、フジコのピアニストとしての軌跡を描いたNHKのドキュメント番組、ETV特集『フジコ～あるピアニストの軌跡～』が放映され大反響を巻き起こす。「フジコの演奏をもっと聴きたい」という視聴者からの要望が殺到し、番組は幾多に及び再放送され、さらに続編「フジコ、ふたたび～コンサート in 奏楽堂」も放送された。同年に発売されたファーストCD『奇蹟のカンパネラ』は200万枚を超える売り上げという、クラシック界異例の大ヒットを記録し、いまだにその記録を更新し続けている。その稀有な半生がフジTV系列で菅野美穂主演でドラマ化され、高視聴率を獲得し人気を不動のものにした。これまで2枚のCDで日本ゴールドディスク大賞、4度にわたる各賞のクラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。世界各国の公演に出演し続け、その名声を海外に広げている。

マリオ・コシク (指揮)

●Mário KOŠÍK

マリオ・コシクは、スロバキア国立放送交響楽団の指揮者として、国内外で一目置かれて高く評価される。多数の応募者の中から選出され、2000年カルロヴィ・ヴァリ・シンフォニー・オーケストラの首席指揮者に任命。これを機に、プラハ室内管弦楽団、プラハ交響楽団、ブルノ国立管弦楽団、オナスラヴァのヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団など、ヨーロッパでも有数のアンサンブル、管弦楽団や歌劇場に客演として招待される。モラヴィア・フィルハーモニー管弦楽団との共演で2006年に初来日し成功をおさめ、その後日本には何度も招聘されツアーを行う。定期的にスロヴァキア国内の指揮台に立ち確固たる地位を確立するほか、ドイツ、オーストリア、イタリア、スペイン、ポーランド、ブルガリア、ロシア、そして日本など、様々な国の異なるオーケストラやアーティストとともに数々のコンサートを行い、国際的にも名声の高い指揮者として活躍を続けている。



関西フィルハーモニー管弦楽団

●Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足。1982年関西フィルハーモニー管弦楽団として新発足。2018年公益財団法人化。2020年に楽団創立50周年を迎えた。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年1月より楽団初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者を務め、2007年4月より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は2001年より常任指揮者を務め、2011年1月より桂冠名誉指揮者に就任。2023年4月より鈴木優人を首席客演指揮者に迎え、更なる活動の充実をはかる。2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を締結。2014年10月よりスタートしたBSテレビ東京の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30～)に藤岡幸夫と共に出演中。2023年には楽団2度目のヨーロッパツアーを予定。飯守泰次郎×関西フィル「ワーグナー特別演奏会」(2021年1月23日ザ・シンフォニーホール)が、2021年度音楽クリティッククラブ賞本賞を受賞。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

入場券ご購入にあたり、次のことをあらかじめご承知おき下さい。 ①やむを得ない事情で出演者、曲目が変更になる場合がございます。 ②未就学児のご入場はお断りさせていただきます。 ③お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更はできません。 ④開演後は、自席にお座りいただけない場合がございます。余裕を持ってご来場下さい。 ⑤場内での写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。 ⑥ネットオークションなどによるチケット販売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。

感染対策にご協力ください。 ①マスクの着用をお願いします。 ②37.5度以上の発熱がある場合は、ご来場をお控えください。 ③出演者への面会、花束等はご遠慮ください。